



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 スタンレー電気株式会社

コード番号 6923 URL <http://www.stanley.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 北野 隆典

問合せ先責任者 (役職名) 経理部門長

(氏名) 桑田 郁夫

TEL 03(6866)2222

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日

平成25年11月28日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	155,502	20.6	17,714	32.4	19,068	36.9	11,752	37.6
25年3月期第2四半期	128,939	17.9	13,374	20.3	13,931	16.6	8,540	100.3

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 17,933百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △75百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	69.40	69.32
25年3月期第2四半期	50.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第2四半期	367,725		268,679		67.1
25年3月期	354,741		256,172		66.2

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 246,722百万円 25年3月期 234,906百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
26年3月期	—	15.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	316,000	20.1	37,000	34.7	40,500	34.3	24,500	37.9	145.02

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	179,000,000 株	25年3月期	179,000,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	10,536,250 株	25年3月期	9,552,865 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	169,349,046 株	25年3月期2Q	169,899,790 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、為替等のリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、四半期決算短信【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9
4. その他	10
(1) 訴訟の提起について	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 一般的な営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済対策や金融政策効果に対する期待感から円安と株価上昇が進み、緩やかに回復してきております。

一方、世界経済は、米国が緩やかな景気回復局面が継続し、欧州では自動車販売や小売売上高が足元で改善の動きをみせているものの、中国では景気が一段と減速、堅調であった新興諸国の経済成長の鈍化等、総じて先行き不透明な予断を許さない状況が続いております。

以上のような経済環境のもと、当社並びにグループ各社（以下、当社グループ）では、市場ニーズを的確に捉えた製品開発、受注拡大を目指した営業力強化、生産工程や間接部門の徹底的なムダ取りといった生産革新活動による生産性向上、原価低減等を着実に実行し、成果をあげております。

当第2四半期連結累計期間においては、売上高は1,555億2百万円(前年同期比20.6%増)、営業利益は177億1千4百万円(前年同期比32.4%増)、経常利益は190億6千8百万円(前年同期比36.9%増)、四半期純利益は117億5千2百万円(前年同期比37.6%増)となりました。

② セグメント情報の概況

1) 自動車機器事業

世界の自動車生産台数は、欧州、アジア、日本で減少傾向にあるものの、中国、米州で大きく伸張し全体として増加傾向でした。二輪車では、アジアで増加傾向にあるものの、欧州、米州で横ばい、中国、日本では減少傾向で推移し、全体としては、ほぼ横ばい傾向となりました。

このような市場環境の中、自動車の中国・米州における生産増加、二輪車のアジアにおける生産増加により、結果として増収増益となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における自動車機器事業の売上高は1,133億5千7百万円(前年同期比27.4%増)、営業利益は134億1千1百万円(前年同期比28.0%増)となりました。

2) コンポーネツ事業

当セグメントが関連する車載市場及びLED照明市場が世界全域で伸張する一方、情報通信・AV市場、遊技市場はそれぞれ世界全域としてほぼ横ばい、PC市場が縮小傾向となりました。

このような市場環境の中、当社グループのコンポーネツ事業（LED、液晶等）の売上高及び営業利益は、車載向け製品の増加及び遊技向けLED製品の増加により増収増益となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間におけるコンポーネツ事業の売上高は146億8千3百万円(前年同期比15.7%増)、営業利益は21億9千万円(前年同期比37.3%増)となりました。

3) 電子応用製品事業

当セグメントが関連する車載インテリア市場及びLED照明市場は世界全域で伸張しましたが、AV市場のうちカメラ市場は大幅に縮小しました。

このような市場環境の中、当社グループの電子応用製品事業（LED照明製品、液晶用バックライト、ストロボ、操作パネル等）の売上高及び営業利益は、操作パネル、超薄型ノートPC向け液晶用バックライトで伸張したものの、ストロボ関連製品が、カメラ市場の大幅縮小の影響を受け減少した結果、減収増益となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における電子応用製品事業の売上高は271億8千1百万円(前年同期比0.1%減)、営業利益は24億6百万円(前年同期比7.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は3,677億2千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ129億8千3百万円増加しております。主な要因は、固定資産が79億2百万円及び流動資産が50億8千万円増加したことによるものです。固定資産の増加は、有形固定資産が59億8千9百万円増加したこと及び株価の上昇等により投資有価証券が増加し、投資その他の資産が23億1千4百万円増加したことによるものです。流動資産の増加は、配当金の支払いと自己株式を取得したことにより現金及び預金が減少したものの、たな卸資産が増加したこと及び前第4四半期連結会計期間に比べ、当第2四半期連結会計期間の売上が増加したことにより受取手形及び売掛金が増加したこと等によるものです。

負債は990億4千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億7千6百万円増加しております。主な要因は、その他の流動負債が減少したものの、支払手形及び買掛金、未払法人税等及びその他有価証券評価差額金に対する繰延税金負債等が増加したこと等によるものです。なお、社債100億円が平成26年4月に償還予定のため、固定負債から流動負債へ振替を行っております。

純資産は2,686億7千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ125億6百万円増加しております。主な要因は、株主資本が75億1千3百万円増加したこと及びその他の包括利益累計額が43億3百万円増加したこと等によるものです。株主資本の増加は、四半期純利益の計上等によるものです。また、その他の包括利益累計額の増加は、株価の上昇によりその他有価証券評価差額金が増加したこと及び為替レートの変動に伴い為替換算調整勘定が増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

各セグメントにおける自動車向け製品等の受注が増加していること、及び為替が円安に推移していることにより、平成26年3月期通期業績予想数値を修正いたしました。

当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、為替等のリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項**(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）**

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	60,228	56,074
受取手形及び売掛金	53,407	57,759
有価証券	11,191	9,235
たな卸資産	21,212	26,528
繰延税金資産	2,784	2,724
その他	14,032	15,619
貸倒引当金	△35	△38
流動資産合計	162,822	167,903
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	54,992	54,656
機械装置及び運搬具（純額）	32,273	34,163
工具、器具及び備品（純額）	14,477	17,733
土地	12,645	12,456
リース資産（純額）	425	413
建設仮勘定	15,105	16,486
有形固定資産合計	129,920	135,910
無形固定資産		
投資その他の資産	5,833	5,431
投資有価証券	49,250	52,799
繰延税金資産	581	721
その他	6,333	4,958
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	56,165	58,479
固定資産合計	191,919	199,821
資産合計	354,741	367,725

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,649	37,858
短期借入金	8,758	9,659
1年内償還予定の社債	—	10,000
リース債務	156	155
未払法人税等	2,116	3,152
繰延税金負債	24	64
賞与引当金	3,030	2,980
役員賞与引当金	119	63
その他	17,694	13,831
流動負債合計	67,551	77,766
固定負債		
社債	10,000	—
リース債務	276	263
繰延税金負債	8,233	9,649
退職給付引当金	6,579	6,999
役員退職慰労引当金	79	40
資産除去債務	568	539
その他	5,280	3,786
固定負債合計	31,018	21,279
負債合計	98,569	99,045
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,514	30,514
資本剰余金	29,825	29,825
利益剰余金	182,415	191,792
自己株式	△16,410	△18,274
株主資本合計	226,345	233,858
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,383	18,767
為替換算調整勘定	△7,822	△5,903
その他の包括利益累計額合計	8,560	12,864
新株予約権	126	131
少数株主持分	21,139	21,825
純資産合計	256,172	268,679
負債純資産合計	354,741	367,725

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	128,939	155,502
売上原価	99,209	119,769
売上総利益	29,730	35,733
販売費及び一般管理費	16,355	18,018
営業利益	13,374	17,714
営業外収益		
受取利息	154	213
受取配当金	309	304
持分法による投資利益	605	763
受取ロイヤリティー	524	640
雑収入	133	435
営業外収益合計	1,726	2,357
営業外費用		
支払利息	145	169
為替差損	730	494
雑損失	294	340
営業外費用合計	1,170	1,003
経常利益	13,931	19,068
特別利益		
固定資産売却益	3	51
特別利益合計	3	51
特別損失		
固定資産除却損	272	191
特別損失合計	272	191
税金等調整前四半期純利益	13,662	18,928
法人税等	3,771	5,423
少数株主損益調整前四半期純利益	9,890	13,505
少数株主利益	1,349	1,753
四半期純利益	8,540	11,752

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,890	13,505
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,815	2,383
為替換算調整勘定	△5,688	2,396
持分法適用会社に対する持分相当額	△462	△351
その他の包括利益合計	△9,966	4,428
四半期包括利益	△75	17,933
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△381	16,055
少数株主に係る四半期包括利益	305	1,878

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,662	18,928
減価償却費	8,489	10,506
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	7	1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△26	△53
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	427	457
受取利息及び受取配当金	△463	△518
支払利息	145	169
持分法による投資損益 (△は益)	△605	△763
固定資産除売却損益 (△は益)	268	140
売上債権の増減額 (△は増加)	1,273	△3,208
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,618	△4,933
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,991	2,252
その他	△451	△2,419
小計	17,117	20,558
利息及び配当金の受取額	681	1,113
利息の支払額	△134	△148
法人税等の支払額	△4,764	△4,200
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,900	17,322
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△927	△1,435
定期預金の払戻による収入	1,869	1,083
有価証券の取得による支出	△1,199	△1,000
有形固定資産の取得による支出	△13,648	△19,769
有形固定資産の売却による収入	214	682
無形固定資産の取得による支出	△1,165	△1,210
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	1,082	1,001
その他	△200	69
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,974	△20,578
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	441	554
少数株主からの払込みによる収入	176	—
自己株式の取得による支出	△2,001	△2,004
配当金の支払額	△2,223	△2,372
少数株主への配当金の支払額	△315	△684
その他	△86	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,007	△4,504
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,679	1,237
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,762	△6,523
現金及び現金同等物の期首残高	61,999	68,906
現金及び現金同等物の四半期末残高	55,237	62,383

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	自動車 機器事業	コンポーネ ンツ事業	電子応用 製品事業	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	88,987	12,686	27,207	58	—	128,939
セグメント間の内部 売上高又は振替高	148	5,791	633	1,329	△ 7,902	—
計	89,135	18,478	27,841	1,387	△ 7,902	128,939
セグメント利益又は 損失 (△)	10,479	1,595	2,248	△ 29	△ 920	13,374

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない身体障害者雇用促進事業、グループに対する金融・経営サービス等の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△920百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,500百万円、セグメント間取引消去1,459百万円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的試験研究費及び管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位:百万円)

	自動車 機器事業	コンポーネ ンツ事業	電子応用 製品事業	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	113,357	14,683	27,181	279	—	155,502
セグメント間の内部 売上高又は振替高	176	6,463	2,523	1,390	△ 10,553	—
計	113,534	21,146	29,705	1,669	△ 10,553	155,502
セグメント利益	13,411	2,190	2,406	24	△ 319	17,714

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない身体障害者雇用促進事業、グループに対する金融・経営サービス等の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△319百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,046百万円、セグメント間取引消去2,206百万円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的試験研究費及び管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

自己株式の消却

当社は、平成25年9月20日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却を行うことを決議し、自己株式の消却を以下のとおり実施いたしました。

(1) 自己株式消却に関する取締役会の決議内容

- ① 消却する株式の種類
当社普通株式
- ② 消却する株式の総数
600,000株
- ③ 消却予定日
平成25年10月4日

(2) 消却日

平成25年10月4日

(3) 上記の消却後の発行済株式の総数は、178,400,000株であります。

4. その他

(1) 訴訟の提起について

当社及び当社の米国子会社である Stanley Electric U.S. Co., Inc. (以下「SUS」) と I I Stanley Co., Inc. (以下「IIS」) は、他の事業者と共同して自動車用ランプについて調整行為を行った等として、カナダ国において民事訴訟(クラスアクション)の提起を受けております。

さらに、訴状の送達はされておりませんが、米国においても、同一原因にて当社及び SUS と IIS に対し同種の訴訟が提起されているとの情報を得ております。

なお、本件訴訟等が当社の今後の業績に与える影響につきましては、現時点で合理的に予測することは困難です。